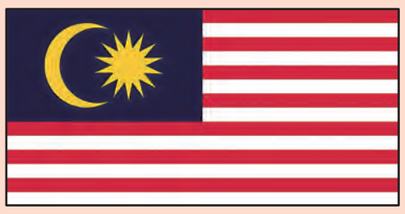
久間　秀樹　　マレーシア

（コンピュータ技術・2021年度7次隊・長野県上田市）

［マレーシアの概要］



1.面　　積：約33万290平方km
（日本の0.87倍）
2.人　　口：約3,267万人
（2021年マレーシア統計局）
3.首　　都：クアラルンプール
4.民　　族：マレー系69%、中国系23%、インド系7%、その他1%
5.言　　語：マレー語（公用語）、英語、中国語、タミール語
6.宗　　教：イスラム教61%、仏教20%、キリスト教9%、ヒンドゥー教6%など
7.主要産業：製造業（電気機器）、農林業（天然ゴム、パーム油）、
及び鉱業（錫、原油、LNG）
8.G　D　P：3,730億ドル（2021年）

［お気に入りのグルメ（食）］

ケロポ・レコー

ある日の夜、友人であるゾロさんの家で、奥様の手料理を頂きました。デザートも含めてすべて美味しかったのですが、特に魚のフライが絶品でした。

料理の名前を尋ねると、奥様はこう答えてくれました。
「ケロポ・レコー・トレンガヌ」
それが、この料理との出会いです。

ケロポ・レコーとは、すり潰した魚と小麦粉を混ぜ練り上げたもので、これを油で炒めます。

後ろにトレンガヌなどの地名が付いているのは、地域によって味が違うからです。中でも東海岸のケロポ・レコーは美味しいと評判です。

【狙う学校のボス】

同僚の講師、アイノンさんの故郷は東海岸、クランタン州。休暇で帰った際に、お土産としてケロポ・レコー・クランタンを買ってきてくれました。初めて食べるクランタンのケロポ・レコーは、柔らかく、もちもちとした食感で、とても美味。驚きました。マラッカ州にもケロポ・レコーがあるようなので是非試してみたいと思っています。

［私の任地］

1.任　地　の　名　前：マラッカ州
2.任　地　の　人　口：93.2万人（2019年）
3.首都からのアクセス：高速バスで2,3時間
4.庶　民　の　足：自動車、バイク、Grabタクシー
5.物　　価：ナシ・ゴレン（炒飯）180円（現地通貨でRM6）
6.配　属　先：ILPサランダー（公立の職業訓練校）
7.市内にいる日本人の数：約200人

［活動内容］

ILPサランダーは、マラッカ州にある公立の職業訓練校で、コンピュータ技術に特化した学校です。学生は高校卒業資格を持つマレーシア人で、ILPで2年間学んだ後、就職する者、さらに上位の資格を取得するために進学する者がいます。
学生数は約300名ほどで、システムコンピュータ、ソフトウェア技術、マルチメディア、CADメカニカルなどのコースがあります。

ここで私はコンピュータ技術の専門家としてカリキュラムの見直し、現地企業との関係構築を行ったりしています。また、国際交流の推進と称して、学生たちに日本語を教えたりすることもあります。

【アニメLoverのハズィム君】

【ソフトウェア技術のハリラヤ】

海外で活動するに際しては、自分一人の力ではどうにもならないことが多く、いずれにしても当地で活動しているマレーシアの方々の協力を得なければなりません。その為に、できるだけ多くの関係者に顔と名前、人となりを知ってもらい、マレーシア社会に溶け込むことを心がけています。

［お気に入りの風景］

ドリアン・トゥンガル
（たった一つのドリアン）

ドリアン・トゥンガルという町に、私の家があります。夕方、学校から帰ると、いつもこの町を散歩しています。ごく普通の地方都市の住宅街なのですが、見飽きることのない風景が広がっています。

小道を猫が横切り、首輪を付けていない犬が平気で歩き回り、ときには牛や山羊が草を食んでいます。そんな中を子供達が大声で遊び回っているのです。ふと横を見ると、1台のスクーターに家族4人が乗り、近所に買い物に出かけていきます。

なんて自由なのでしょう。もう現在の日本では見ることができない風景です。このような状況を危険だとか、前近代的だとか、そういう見方もあるでしょう。でも、今の日本が失ってしまった大切な何かが、ここには残っているような気もするのです。

Covid-19で一時帰国を余儀なくされたとき、もう一度見たいと思ったマレーシアの風景は、有名な観光名所などではなく、この町の風景でした。